

下別時関連仏画群 一括(6点 附1点) 追加指定

下別時関連仏画群

しもべつじかんれんぶつがぐん

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔絵画〕

所有者

宗教法人 法明寺(ほうみょうじ)

所在地

大阪市平野区喜連 4

紹介



下別時関連仏画群のうち融通念仏縁起

下別時は、中世の融通念仏教団(ゆうづうねんぶつきょうだん)を支えていた念仏集団のひとつの呼称で、法明寺はその法灯を伝える寺院である。法明寺伝来の仏画群 11 点と附 2 点が既に市指定となっているが、近年の調査等によりさらに複数の仏画が確認された。融通念仏宗(ゆうづうねんぶつしゅう)特有の絵巻である融通念仏縁起(ゆうづうねんぶつえんぎ)・融通大念仏亀鐘之縁起(ゆうづうだいねんぶつかめがねのえんぎ)をはじめとする画像群で、制作年代が中世にさかのぼる作例も含んでいる。先に指定した仏画群を補完する史料である。

用語解説

融通念仏宗(ゆうづうねんぶつしゅう) 良忍(りょうにん、1073～1132)が開祖の浄土教の宗派の 1 つ。総本山は大念佛寺。

融通念仏縁起(ゆうづうねんぶつえんぎ) 融通念仏宗の由来や開祖良忍(りょうにん、1073～1132)の伝記などを説いた絵巻。

融通大念仏亀鐘之縁起(ゆうづうだいねんぶつかめがねのえんぎ) 融通念仏宗 7 世宗主法明(ほうみょう、1279～1349)の融通念仏宗再興の由来や法宝物の亀鉦(かめがね)の靈験などを描いた絵巻。